

第2580地区

# 東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

## Weekly Report

2014～2015 年度スローガン

奉仕の輪 友情の輪 ニッ揃って

### 『ロータリーの大きな和』

第6回（通算1515回）2014年8月19日

#### ◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶            | 〈6〉 出席状況報告     |
| 〈2〉 ロータリーソング「それでこそロータリー」 | 〈7〉 メークアップ報告   |
| 〈3〉 ビジター紹介               | 〈8〉 委員会報告      |
| 〈4〉 幹事報告                 | 〈9〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈5〉 今月の皆出席表彰 2名          | 〈10〉 閉会点鐘      |
- 原田会員 16年 榎本会員 2年

#### ◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話 「歌で応援」

全日本音楽振興会株式会社 UPC 代表 児玉久幸氏

応援ソングとして、企業、商店街、人生、誕生、結婚等の制作

次週の卓話 <8/26> 「TOKYO23FCの活動」

(株)TOKYO23 代表取締役社長 西村剛敏氏

## ◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2014年8月5日 第5回(通算1514回)  
開会点鐘 谷津会長 27F「エクセレンス」  
\*ゲスト紹介 2名 菅原敬介様(卓話講師/東京  
青年会議所理事長)/芥川友慈様(元会員)  
\*出席報告  
出席 24名 欠席 7名 (免除者2名)  
出席率 82.75% 補正出席率(7/15) 82.14%

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- まずはスケジュールの確認とご連絡です。  
①8月の例会スケジュール  
今回は特別休会日でお休みです。  
19日は通常例会ですが、翌26日は夕刻例会となり、午後4時、ハイアットリージェンシーホテルで実施いたします。こちらは新規入会見込みの会員を皆様誘い合ってください。例会終了後、酒粋会の会場に移動いたします。  
②9月の例会スケジュールです。  
2、9日は通常例会です。12日は城北さんとの合同例会でヒルトンホテル、12時30分から開催です。翌週、16日は休会です。23日は祝日でお休み。30日は通常例会となります。
- 東京神田ロータリークラブから50周年の記念誌が届いております。後ろの席においておきますので、ご回覧ください。
- R財団、米山奨学金の寄附の目標を理事会にて設定をいたしました。R財団が5,000\$。米山奨学金が200千円です。申込は松林までお願いいたします。不幸にして、目標額に達しない時には幹事がお願いに参りますのでよろしく願いいたします。

## 第2回理事・役員会 議事録

8月5日(火)午前11時より27F「アプローズ」に於いて「第2回理事・役員会」を開催しました。  
審議内容は下記の通りです。  
出席/谷津、松林、牧野、富永、萱森、鈴木、橋本、小林、榛村、深谷 (10名)

- 会計報告  
・6月分の報告を松林より実施  
・7月分の報告を萱森より実施  
コピー代について質問あり。契約形態について、次回理事会にて報告することになった。

- スケジュール、卓話の報告  
8月のスケジュールと卓話予定者の報告を松林より説明。26日夕刻例会と酒粋会に新規入会見込み者を多く誘って、楽しくお迎えしましょう。
- 大井会員の休会扱いについて  
規定通りの対応とすることで、承認となりました。
- その他  
地区補助金プロジェクトについて、この9月での申請は見送って、来年の9月に申請するべく準備をすることになった。  
まずはこの秋に、陸前高田、横田小学校を訪れて、実際のニーズ、児童、学校の要望を直接聞くことから始めることにいたします。  
実際の申請業務は、牧野年度、実行はまた次の年度での対応となります。  
以上の通り、ご報告いたします。

幹事 松林 茂

## ◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

- 芥川様:久し振りにおじゃまさせて頂きました。ありがとうございます。
- 故伊藤会員 令夫人:伊藤会員の新盆にロータリークラブから供花を差し上げました。今回、そのお返しにと頂戴いたしました。
- 原田会員:①上着とバッジ忘れました。②昨日、船橋CCが倶楽部対抗 決勝戦で11位に入り、来年一次予選をシードされました。
- 花形会員:家内の誕生日のお花ありがとうございました。また、菅原理事長の卓話 楽しみにしています。
- 鈴木会員:芥川さん、いらっしゃいませ。
- 深谷会員:菅原理事長、卓話よろしくお願いします。

今週の合計	6件	20,000円
今期の累計		228,000円





「(公社)東京青年会議所の運動」  
(社)東京青年会議所理事長 菅原敬介氏

初めまして。公益社団法人東京青年会議所第 65 代理事長の菅原敬介と申します。本日はお招き頂きありがとうございます。また常日頃より当会にお力添えを賜り感謝申し上げます。それでは東京青年会議所の活動をお話させていただきます。

東京青年会議所(当時、東京青年商工会議所)設立の目的は「新日本の再建」でした。その行動は、この国に対する危機感と祖国を愛する気持ちから始まったものであり、日本の将来を憂う、志高き青年世代の使命感でした。

1949 年 9 月 3 日、戦後の焼け野原から産声を上げた東京青年会議所の創始より受け継がれている「志」は不変です。「新日本の再建は我々青年の仕事である。」からはじまる設立趣意書を紐解くと、この国を再建するには何よりも経済を立て直す必要があり、その為には国際舞台で活躍できる環境が必要であるとのビジョンが描かれています。

東京青年会議所は、そのビジョンを具現化していく為に主体的に全国各地の青年会議所設立に尽力すると共に、1951 年には日本青年会議所の設立に参画しました。同年、カナダ・モントリオールで開催された第 6 回 JCI 世界会議において日本青年会議所は正式に JCI に加盟するに至り、時の会頭であったフィリピン出身のラモン・デル・ロザリオ会頭の冒頭演説では次の様なメッセージが日本青年会議所代表団に贈られました。

「JCI には国境も民族もない。それは、全世界の青年のものである。その誇りにおいて、我々は今ここ

に、かつての敵国日本の JCI 代表団を、心からなる歓迎をもって迎えようとする。」

1951 年度 JCI 会頭ラモン・デル・ロザリオこれは、1952 年 4 月にサンフランシスコ講和条約が発効し、正式に日本の主権が回復される以前のことであり、敗戦国である日本の青年会議所が JCI へ加盟するまでの過程には今を生きる私たちでは想像できないような困難があったことでしょう。この日本青年会議所の JCI への加盟による国際舞台への復帰は、まさに「新日本の再建」の為に先輩方が「高い志」と「強い覚悟」を持った挑戦だったのです。

現在の東京青年会議所は、会員数が減少の一途を辿っています。これは、組織としての運動が停滞すると共に魅力が薄らいでいるからではないでしょうか。そして、この原因は私たち自身にあるはずで、なぜならば、社会問題に対して私たち一人ひとりの危機感が薄く、ただ出来ることをしているに過ぎないからです。私たちは、真剣にこの国や自らの地域に対して危機感を抱いているでしょうか。緊張感を持って市民の意識改革や社会システムを変革しようとしているでしょうか。出来ることをするのではなく、やりたいことをするのでもなく、社会問題に危機感を持ち「しなければならないこと」に失敗を恐れずに挑戦していくことが社会から求められていることであると私は考えます。私たちが東京青年会議所の創始より受け継いでいる「志」とは、社会問題の解決に対して青年らしい「高い志」と「強い覚悟」を持って、失敗を恐れず理想に挑戦し、現状を打破していくことです。そして、その「志」は 65 年の時代経過と共に社会背景も大きく変貌を遂げた現代社会においても必要とされる東京青年会議所運動の原点なのです。

私たちが理想とする「明るい豊かな社会」とはいったいどのようなものでしょうか。その答えは、JC 宣言文の中にある「個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代」であると私は考えています。そして、「明るい豊かな社会」の実現には、社会を変える力強い運動展開と実行力が必要です。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。 吉田松陰

私たちには足りないものがあります。それは、社会に対する「危機感」と「緊張感」です。この国や地域の将来、今そこにある社会の問題に「危機感」を感じ「緊張感」を持つからこそ、社会から本当に必要とされる効果的な運動ができるのではないのでしょうか。

社会を変える力強い運動展開とは、私たちが真のリーダーシップを発揮し、多くの市民を巻き込むことで「個人の意識改革」と「社会システムの変革」を達成していくことです。

2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることになりました。招致決定の瞬間、閉塞感が漂う多くの日本人の心に夢という花火が打ち上がり、マインドを大きく変える契機になったのではないのでしょうか。「今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ。」というメッセージと共に日本人のマインドを変える具体的な夢を起爆剤として、創始の志を今の時代に照らし合せ、再び国際舞台での更なる活躍を目指すことが「明るい豊かな社会」構築の為に、東京青年会議所が今「しなければならないこと」であると私は考えます。

利他を思う心よりも利己を求めがちな現代社会において、子供を取り巻く地域全体での心の対話の不足と、子供の道徳心の欠如が現代のいじめ問題の要因のひとつとなっています。大人たちの行動を見て感じる子供、その子供を見て学ぶ大人たち、その縦軸と横軸が紡ぎ合う相互関係が、未来の子供や地域を笑顔にしていけるような心の育みに繋がるのです。この価値観をメンバー全員で共有し合い、日本人独自の「思いやり」や「利他の精神」を重んじる価値観を社会や教育現場に反映し定着させていくことができれば、子供が大きな志を抱き、この国や地域を愛する気持ちが高まることで誇りを持てるようになるはずです。

また、地域に根差す青年経済団体である私たち東京青年会議所は、子供を対象とする運動に地域の大人を巻き込まなければなりません。道徳に対する大人の見識を高め、世代を越えて現代日本の成熟した経済の更なる発展と成長の為に、道徳ある「人」創りに注目をした経済政策運動を展開しております。

私たち東京青年会議所は多くの運動を行っておりますが、その運動を二つほどご紹介させていただきます。

## 「わんぱく相撲精神を世界へ」

「わんぱく相撲」は簡単に言うと青少年の健全育成が目的であります。1976年に社団法人東京青年会議所が実施した「東京・23区の魅力度・第2回都民生活意識調査報告書」に基づき、遊び場の少ない東京の子ども達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛練と健康の増進、そして地域コミュニティの構築を目的として、身近に行えるスポーツである“相撲”をとりあげ、1977年に社団法人東京青年会議所が23区全域に運動として展開したことに始まります。その後、1981年に社団法人東京青年会議所が、財団法人日本相撲協会と協力して、「わんぱく相撲の手引き」を作成のうえ、全国の市町村教育委員会並びに各地の青年会議所に無料配布し、全国への普及運動も並行して行ってまいりました。

そして、国技館が蔵前から両国に移転する際に、「わんぱく相撲全国大会」を開催する方向付けがなされ、1985年8月4日に第9回「わんぱく相撲東京場所」と併催で、「わんぱく相撲全国大会・新国技館落成記念大会」が開催され、今回を迎えます。

2014年度に第30回を迎えるわんぱく相撲全国大会は、わんぱく相撲の目的や精神を広く浸透させる為に、日本のみならず世界へ広める意義のある大会とする為に、準備段階から海外のJCとの積極的な交流を通じて協力体制の構築を行い、海外でわんぱく相撲大会を開催します。第30回わんぱく相撲全国大会を、世界の子供達の「礼節と思いやり」を育むことで国際社会へ貢献すると共に、海外の子供達と日本の子供達とを繋ぐ友情の架け橋になる大会にして行きます。そして子供達が世界を身近に感じられる大会を目指します。

## 「公開討論会」

「公開討論会」とは、衆議院・参議院議員選挙、知事選挙、区長選挙などに先立って、これらの選挙に立候補を予定している方々に参加していただき、国政、都政、区政の抱える問題点についての政策や具体的な解決策などを聞く会です。現行の公職選挙法では、選挙期間中に立候補者以外の第三者がこのような会を開くことが禁じられているため、選挙期間前に立候補を予定している方々にご参加頂いて政策を聞くという方法

をとっています。政治家を選ぶためには「地盤」「看板」「カバン」ではなく本来は政治を志す方の人柄や、政策で選ぶ必要があります。私たちは政策本位で政治家を選ぶための公開討論会を長年にわたり開催してまいりました。2013年7月21日に行われた参議院議員選挙によって、これまでの決められない政治の代名詞となっていた、ねじれ国会が解消されました。政治とは物事を決定する為の手段であり、本来は、政治家は理想を語るべき存在であるはずですが、近年では政治家になることを目的とし、当選する為だけの見せかけの政策を唱える方々が見受けられるのは非常に残念でなりません。

しかし、この主たる原因は主権者である私たち国民が他人事のように考えていることではないでしょうか。市民のレベルが政治のレベルであり、この国のレベルです。つまり、市民のレベルを上げることができれば、政治と国のレベルが上がるのです。しかし、現状を見ると市民の政治への関心度は低く、特に20代・30代の意識は到底満足できる状況ではありません。この危機的状況を打破する為には、大人にも、子供にも政治を身近に感じ、当事者意識を持つことができるような工夫を凝らした継続的な取り組みが必要です。

結びに

私たち青年会議所は、創始の志を胸に変革の能動者として、JCの為のJC活動にとどまらず、社会に「危機感」を感じ「やらなければならないこと」へ「緊張感」を持って挑戦していく力強い運動を展開して行きます。また、強い信念を持ち、現実を直視したアイデアを主張し、青年らしい感性で運動を展開して行きます。私たちが十二分に力を発揮できれば、私たちの夢や理想は必ずや実現できると信じています私達は、公益社団法人東京青年会議所メンバーとしてその名に恥じぬように、全身全霊を傾け、信念を持った青年らしい感性で「志への挑戦」に邁進をしていきます。

今後も東京セントラルロータリークラブの皆様方のご支援何卒宜しくお願い致します。

本日はお招きいただきありがとうございました。

## ◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



今月お誕生日の皆さん、おめでとうございます！



東京中野 RC 時のメンバーであられた芥川様、ようこそ！



東京神田 RC 創立 50 周年記念誌のご紹介。

## 7月の皆出席

榎本会員/大橋会員/萱森会員/久米会員/  
小林会員/佐野会員/白石会員/榛村会員/  
鈴木会員/谷津会員/富永会員/橋本会員/  
原田会員/深谷会員/古内会員/古川会員/  
前田会員/牧野会員/松林会員/村田会員/  
渡辺会員 (以上 21 名)

※ 誤りがございましたら お申し出下さい。

古内会員のメールアドレスが下記変更となります。ロースターの書き換えをお願いします。

〈変更後〉 [marukame@jewel.ocn.ne.jp](mailto:marukame@jewel.ocn.ne.jp)



—事務局からのお知らせとお願い—

\* 例会欠席の場合は、前日までに事務局  
にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会 長 谷津 和広 副会長 牧野 光洋

幹 事 松林 茂 会報委員長 深谷 敏哉

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: [info@tokyocentralpark-rc.com](mailto:info@tokyocentralpark-rc.com)

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>